芸備地方史研究　総目録(3) <200-299号>

広大大学院文学研究科　芸備地方史研究会　発行

号数	発行年	価格	著者	論文
200	1996.6	500	二〇〇号記年特集号	
			委員会	「二〇〇号記念特集の発刊にあたって」
			網野善彦	「『海の領主』をめぐって—忽那氏・二神氏に関連して—」
			最近の地方史研究をめぐって　林英夫	「戦後五十年目にみた『地方史』の現況」
			県内郷土史研究団体の動向　藤村耕市	「地方史研究の課題」
			平井隆夫	「福山博物館古文書グループの活動について」
			高木等	「廿日市郷土文化研究会の歩んだ四十年余を回顧して」
			『芸備地方史研究』二〇〇号を迎えて	
			土井作治	「『芸史』誌二〇〇号を前に考える」
			道重哲男	「芸史創刊のころ」
			芸備地方史研究会年表	
			芸備地方史研究総目録(一五二号～二〇〇号)	
201	1996.9	500	論説	片岡智　「近世民間社会における『兄弟契約』について」
				正井秀夫　「貞観四年安芸国安芸郡主政設置について『日本三代実録』貞観四年七月二十七日条をめぐって-」
			資料紹介	櫨井勝　「広島県出土古代文字資料集成(稿)」
				長谷川博史　「古代・中世　鞆の浦関係編年史料目録(一)」
202	1996.10	500	シンポジウム特集号—あらためて原爆遺跡保存を考える—	
				村中好穂　「原爆遺跡を考える」
				楠忠之　「この声にどう応えるか」
				小原誠　「旧大正屋呉服店存廃についての市長発言への反論」
				今正秀　「『被爆建物』保存の論理・破壊の論理」
			基調報告	山瀬明　「爆心地の実相を語るレストハウス保存について」
				石丸紀興　「増田清と大正屋呉服店」
				長谷川博史　「原爆遺跡保存の歴史的意義について」
203	1997.2	1500	広島県地方史研究文献総目録Ⅳ　総記・考古・古代・中世・近世・近代・現代・民俗	
204				
205	1997.3	500	論説	藤下憲明　「江戸期における安芸国可部鋳物師の鋳造活動—三宅・細田氏を中心として—
				正井秀雄　「二つの鷹宮の伝承－江田島鷹宮と矢野鷹ノ宮－」
			資料紹介	久枝秀夫　「安芸国山県郡新庄村中津屋庄八の『うすひきうた』」
				長谷川博史　「古代・中世　鞆の浦関係編年史料目録(二)」
206	1997.7	500	論説	下向井龍彦　「『楽音寺縁起』と藤原純友の乱」
				星野公克　「現代工法による竪穴住居の製作」
207	1997.12	1000	特集　原爆ドーム・厳島神社の世界遺産登録Ⅰ	
208				木谷昌光　「厳島の特殊神事について—神衣献上式・御島廻式・管絃祭—」
				飯田楯明　「厳島の宝物—平家納経について—」
				三浦正幸　「厳島神社の本殿」
				朝倉尚　「宮島の文芸」
				松井輝昭　「中世厳島神社の文書管理について」
				角重始　「世界遺産登録によせて」
209	1998.3	500	特集　原爆ドーム・厳島神社の世界遺産登録Ⅱ　原爆ドームの世界遺産登録	
				村中好穂　「原爆ドームが語る戦後広島の奇跡—何が、どのように世界遺産に登録されたか—」
				石川まゆみ　「原爆ドームが私たちに語るものを伝えるために—授業実践例—」
				吉川生美　「被爆者の分身　原爆ドーム」
210	1998.6	500	論説	黒田基樹　「福島正則文書の基礎的研究(上)」
			新刊紹介	吉田正秀　藤井昭著『芸備地方のまつり－稲作を中心として－』
211	1998.8	500	論説	黒田基樹　「福島正則文書の基礎的研究(下)」
			講演	山室恭子　「毛利元就と三本の矢－サン・フレッチェ・ストーリー－」
212	1998.12	1000	論説	前田徹　「安芸国三田郷の耕地景観と『村』」
213				福原茂樹　「築城期の広島城について－福島期における広島城改築に関する一考察－」
			書評	数野文明　千田武志著『英連邦軍の日本進駐と展開』
			新刊紹介	稲葉靖司　森浩一・網野喜彦・渡辺則文著『瀬戸内の海人たち交流がはぐくんだ歴史と文化-』
214	1999.3	500	論説	木村信幸　「判物から見た吉川元春の家督譲り」
			講演	頼祺一　「竹原の町人文化について」
215	1999.6	600	論説	引野亨輔　「三業惑乱における?園派の動向とその後－大瀛著作に注目して－」
				藤村耕市　「明治時代の三次・恵蘇両郡の製鉄業下戻し運動」
216	1999.9	600	論説	山本那津子　「近世後期の瀬戸内農村における人口動向と他国稼(上)—広島藩賀茂郡黒瀬組切田村を事例として—」
217	1999.12	1200	論説	山本那津子　「近世後期の瀬戸内農村における人口動向と他国稼(下)—広島藩賀茂郡黒瀬組切田村を事例として—」
218				
			書評	重始　前原茂雄著『備後国大田庄故地調査報告書』
			新刊紹介	長谷川博史　秋山伸隆著『戦国大名毛利氏の研究』

			講演	金谷匡人	「海賊たちの中世」
219	2000.2	600	論説	妹尾周三	「安芸・備後の鋳物師（一）　－海田の植木氏について－」
			新刊紹介	畑野順子	白幡洋三郎編著・合田健監修『新・瀬戸内海文化シリーズ２ 瀬戸内海の文化と環境』
220	2000.5	600	論説	落合功	「近代成立期、煙害訴訟における国家の対応と地域社会 広島県安芸津町風早村塩浜における石炭転換を例にして-」
			新刊紹介	引野亨輔	福尾猛市郎・藤本篤著『福島正則－最後の戦国武将』
225	2001.4	600		道重哲男	「四先輩を悼む」
			論説	池田剛	「十五世紀における年貢送進活動とその背景　－備後国太田荘を事例として－
			歴史を語る	藤下憲明	「安芸国廿日市鋳物師の一考察　－近世初頭の鋳造活動を中心として－」
			講演要旨	藤本篤	「地方史編纂と福島正則」
226	2001.6	1800	特集	広島県地方史研究の成果と課題Ⅲ	
227					
228	2001.10	600	論説	福原茂樹	「織豊期城郭としての広島城　－発掘調査の成果からみた広島城について－」
				吉野健志	「いわゆる安芸郡山城合戦の再評価」
229	2002.2	600	論説	引野亨輔	「他宗門徒から見た『真宗地帯』安芸」
			歴史を語る	妹尾周三	「安芸、備後の鋳物師（二）　－廿日市の久枝氏について－」
230	2002.4	600	論説	長谷川博史	「大永七年備後国和智郷細沢山合戦と陣城遺構」
			広島県地方史研究の成果と課題Ⅲ		近現代－原爆・強制連行・大久野島－
231	2002.6	1200	動向	日の丸・君が代」新聞記事目録	
232					
233	2002.10	600	論説	光成　準治	「広島城二の丸の築城時期についての一考察」
			芸備山城探訪	谷重　豊季	「品治郡下安井村所在の柏城について－集落も視野に入れた観察－」
			歴史余録	前原茂雄	「備後国大田庄故地の研究環境（上）」
234	2003.1	600	論説	木下　和司	「備後杉浦氏の祖、平光平について 公家近習武士から幕府奉行人への転身-」
			史料紹介	引野　亨輔	「光隆寺智空著『宗旨之趣言上書』」
			歴史余録	前原　茂雄	「備後国大田庄故地の研究環境（下）」
235	2003.5	1200	論説	市川裕士	「南北朝・室町期における芸予の政治動向と沼田小早川氏の海上進出」
236			大会記事(2002年度)		
			講演	中山富廣	「広村古文書からみた近世村落像」
				下向井龍彦	「地名が語る警固屋の歴史」
			歴史余録	木村伸次	「戸坂村史の地名批判」
237	2003.6	600	論説	桐山太志	「報徳社の設立と展開の諸類型－日露戦後の広島を事例として－」
			追悼	道重哲男	「後藤陽一先生を悼む」
238	2003.10	600	論説	新名一仁	「惣領制再編成説の再検討(上)－学説史上の位置と妥当性の検証－」
			書評	池享	秋山伸隆著『戦国大名毛利氏の研究』
				綿貫友子	岸田裕之著『大名領国の経済構造』
239	2004.2	600	論説	松下宏・千田武志	「呉空襲後の住宅難を救った「三角兵舎」」
			新刊紹介	長谷川博史	日本大学理工学部社会交通工学科伊東研究室編 『Mook　鞆
240	2004.4	1200	特集	創立50周年記念大会「芸備地方史の新視点」	
241				児玉識	「近年真宗史研究の視角と課題－安芸門徒を素材に－」
				服部英雄	「中世史研究の新視点」
			書評	松原弘宣	西別府元日『日本古代地域史研究序説』
242	2004.6	600	論説	木下和司	「備後杉原氏と南北朝の動乱」
243	2004.10	600	論説	中山富広	「近世後期における豪農商層の経済倫理と地域社会認識(上) ～備後福山の義倉設立と運営をめぐって～
			歴史余録	宗本正記	「安芸沼田新庄方の支配地について－仁治二年御正検注目録から－
244	2005.2	600	論説	沖野清治	安芸国におけるケキョウ制の成立について
			資料紹介	八幡浩二	尾道乃木神社－その概要と創建背景について－
			歴史余録	保田文吾	慶長検地帳の所在確認について
245	2005.4	1200	論説	遠松かおる	「毛利輝元の御伽衆について」
246				井上智勝	「近世安芸府中の祭祀秩序と朝廷権威－厳島社田所主膳の叙爵を手がかりに」
			大会記事（2004年度）		
			特別報告	山名洋通	吉備津神社と周辺
			研究報告要旨	木村信幸、小栗康治、清水正史	
247	2005.6	600	論説	石田雅春	「占領期広島県における高校再編成と軍政部の役割」
			新刊紹介	鴨頭俊弘	清水正史著『伊予の道』（愛媛文化双書51）
248	2005.10	600	論説	木村信幸	「備後国多賀山氏の基本的性格」
				張楓	「日中戦争期における代用品工業の展開と生産拡大」
			新刊紹介	渡邊誠	山内譲『瀬戸内の海賊』
			歴史余録	保田文吾	「太田川本流移転の時期について」
249	2006.1	600	論説	中山富広	「近世後期における豪農商層の経済倫理と地域社会認識（中）」
			史料紹介	山内治朋	西条市立小松温芳図書館所蔵「小松森田本家資料 貼交屏風」所収「毛利輝元書状」
250	2006.04	1200	小特集	「被爆60年と史・史料保存　－現状と課題を考える－」	

251			シンポジウムの記録	石丸紀興　建造物の観点から
				宇吹暁　文献資料の観点から
				高野和彦　モノ資料の観点から
				高木泰伸　参加記
				橋本啓紀　書評　こうの史代著『夕凪の街　桜の国』
				小宮山道夫　「平和学術文庫」の開設について
			論説	松井輝昭　棚守房顕の記録認識と文書管理
			歴史余録	藤下憲明　「廿日市」地名の起源について
252	2006.06	600	論説	中山富広　「近世後期における豪農商層の経済倫理と地域社会認識(下)」
				～備後福山の義倉設立と運営をめぐって～」
253	2006.01	600	追悼	土井作治　「道重・畑中両先輩を悼む」
			論説	菅真城　「広島カープと広島大学・広島高等師範学校
				-アーカイブズと市民(利用者)との関係に関する試論-
			歴史余録	鴨頭俊宏　「上島町教育委員会所蔵「岩城村教育委員会文書」
				-芸備～伊予間の垣根を越えた海事情報の一つとして-
254	2007.06	600	論説	倉恒康一　「戦国初期の石見国の政治秩序について　-明応期の紛争を通じて見た-」
			歴史を語る	小栗康治　「毛利輝元書状の年代確認についての考察
				広島城築城をめぐる初出書状の検討-」
			歴史散歩	宮本典彦　「安佐北区真亀地区の高陽高校裏にある恵下山遺跡群について」
			新刊紹介	石田雅春　「広島大学文書館編『広島から平和について考える』」
255	2007.04	600	論説	山内譲　「中世港町瀬戸田の景観」
			新刊紹介	菅真城　「原爆遺跡保存運動懇談会編『広島　爆心地　中島』」
				渡邊誠　「頼祺一編『街道の日本史41広島・福山と山陽道』」
				宮本典彦　「廿日市商工会議所テキスト編集委員会編『検定テキスト・宮島本』」
			歴史散歩	宮本典彦　「三次の妖怪について」
256	2007.06	600	論説	石田雅春・高木泰伸　「木村静彦(賀茂鶴酒造株式会社初代社長)
				の事績に関する一考察」
			書評	片岡智・西向宏介　「中山富広『近世の経済発展と地方社会』」
257	2007.11	600	論説	渡辺誠　「地域呼称「中国」の成立と変遷」
258	2008.02	1200	特集　厳島研究の過去・現在・未来　―厳島神社世界遺産登録10周年記念―	
259			講演	藤井昭　「厳島と内海地域の民俗」
			論説	松井輝昭　「中世前期の厳島神社における国衙祭祀と神事・祭礼の「場」」
				山口佳巳　「仁治度厳島神社の廻廊間数及びその配置に関する考察」
260	2008.04	600	論説	本多 博之　「小早川隆景と三原」
261				仲野 浩一　「小早川氏城跡のことを中心として」
			書評	矢田 俊文　「本多博之著『戦国織豊期の貨幣と石高制』」
			新刊紹介	中司 健一　「岸田裕之編『毛利元就と地域社会』」
			大会記事(2007年度)	
			研究報告要旨　上河内良平、村上 寿珠、時元 省二・佐藤 大規	
262	2008.06	600	論説	下向井紀彦　「近世尾道鍛冶についての基礎的考察」
263	2008.10	600	歴史を語る	植田崇文　「備後国の国人領主渋川氏とその周辺について」
			資料紹介	岡野浩二　「宗像大社一切経奥書にみえる瀬戸内海の地名」
			書評	黒田基樹　「光成準治著『中・近世移行期大名領国の研究』」
264	2009.02	600	論説	福原茂樹　「菊間瓦に関する一考察あ(上)」
				横畠　歩　「豊臣期毛利氏の備後国における動向　ー神辺周辺を対象としてー
265	2009.04	600	論説	福原茂樹　「菊間瓦に関する一考察あ(下)」
266	2009.06	600	特集	呉の近代と海軍 -モノと文書から考える-
			講演	秦　郁彦　ミッド
267	2009.10	600	論説	沖野　清治「近世後期における安芸国真宗講中普及の影響について」
				片岡　智　「名称をめぐる視角表象の展開―鞆の浦の場合―」
			新刊紹介	八幡　浩二「尾道学研究会編『尾道…セピア色の記憶』」
268・	2010.02	1800	特集	港町・鞆の浦と瀬戸内海
269				藤野　次史「鞆における考古学的調査」
				渡邊　誠　「鞆の浦の伝承と信仰―平家伝説・福禅寺縁起と熊野信仰―」
				藤田　達生「「鞆幕府」論」
				片岡　智　「近世鞆町の社会構造と地域社会」
				三木　理史「明治・大正期における鞆港―西廻海運からの自立とその変化をめぐって―」
				川后のぞみ「鞆の浦の町家における土間形式の変化」
				長谷川博史「埋立架橋計画と鞆の浦」
270・	2010.04	1200	特集	戦国時代の地方文化を考える

271				尾崎　千佳「『新撰菟玖波集』成立の一考察　―大内政弘とその周辺」
				西本　寮子「元就没後の毛利氏周辺　―文芸関係資料を手がかりとして―」
			大会記事	2009年度）
			研究報告要旨	大知 徳子、中司 健一
272	2010.06	600	小特集	広島平和記念都市法制定60周年にあたり理学部一号館の保存・活用を考える
				―声なき証言者を次の世代に伝えるために―
			報告	布川　弘　「広島の復興と広島平和記念都市法」
				石田　雅春「広島大学旧理学部一号館のあゆみ」
				渡辺　一雄「自然史系博物館の必要性と旧理学部一号館の活用」
273	2010.10	600	論説	鈴木　康之「備後南部における鞆の浦の位置づけ―草戸千軒町遺跡の研究成果から―」
			新刊紹介	玉井絵里香　「河村昭一著『中世武士選書　第2巻　安芸武田氏』」
274	2011.02	600	論説	木下　和司「大永七年九月の備後国衆和談と山名理興（上）」
			歴史余録	植田　崇文「備後国の渋川領小童城の宝篋印塔について」
			新刊紹介	下向井紀彦　「三浦正幸著『日本の宝　鞆の浦を歩く』」
275・	2011.04	1200	論説	山口　佳巳「仁治度厳島神社朝座屋の復元考察」
276				木下　和司「大永七年九月の備後国衆和談と山名理興（下）」
				佐藤　亜聖「鞆の浦弁天島石造層塔考」
277	2011.06	600	講演	山内　譲「瀬戸内の海賊と戦国期の軍船」
			書評	光成　準治
				渡邊　誠「山内譲編『古代・中世伊予の人と地域』」
			新刊紹介	中司　健一「山内譲著『中世の港と海賊』」
			大会記事	（2010年度）
			研究報告要旨	市川　裕士、村上　貢、天野　安治、高木　泰伸
278	2011.10	600	論説	原田　誠司「元禄検地帳における「分附」と「家抱」－17世紀末期備後国芦田郡を中心として－」
			歴史余録	森脇　明彦「広島県（備後・安芸）の刀工」
279	2012.0	600	研究ノート	脇山　佳奈
				八幡　浩二「森谷南人子旧宅採集の高麗鏡について」
280	2012.04	600	研究ノート	斎藤　拓海「備後国の平氏家人　奴可入道西寂について」
			史料紹介	久保　昭登
				下山千賀子「広島県竹原西方寺蔵『引接山記』の翻刻」
281	2012.0	600	論説	木下　和司「備後国衆・杉原盛重の立場―毛利氏との主従関係を中心として―」
			歴史を語る	松井　敏雄「福山市鞆の浦の「亀の甲」について」
282・	2012.12	1200	特集	平氏研究の最前線
283			論説	野口　実　「平家と瀬戸内の武士」
				渡邊　誠　「後白河・清盛政権期における日宋交渉の舞台裏」
				下向井龍彦「平清盛音戸瀬戸「日招き」開削伝説の形成と浸透」
284	2013.03	600	小特集	山間地域史研究の現状
			論説	仲野　義文「山間地域史研究の視座－石見銀山領の村における生産・流通・資本－」
				鳥谷　智文「近世後期におけるたたら製鉄業の展開－出雲国松江藩領を中心に－」
285	2013.04	600	講演	三宅　紹宣「幕長戦争と大竹」
			史料紹介	脇山　佳奈「厳島の奉納鏡－菊花散梵字鏡について－」
			歴史余録	植田　崇文「高野山領大田庄の領域における宝篋印塔について」
			大会記事	（2012年度）
			研究報告要旨	望月　英範、石田　雅春、門田恭一郎
286	2013.06	600	論説	河宮　正至「芸備地方の文人と俳諧行脚」
287	2014.01	600	論説	中司　健一「大内義隆の安芸国支配」
288・	2014.03	1200	論説	畑野　順子「安芸国高田郡三田・風早郷の寄進と立荘」
289				
290	2014.04	600	パネルディスカッション「今後の地方史研究に求められるもの」	
			書評	平下　義記「板垣貴志著『牛と農村の近代史』」
			大会記事	（2013年度）
			研究報告要旨	今井　豊、森本　幾子、平下　義記、中道　豪
291	2014.06	600	論説	高垣真利子「近世豊田郡における頼母子講の検討」
292	2015.02	600	論説	渡邊　誠　「安芸国の国司神拝」
293・				
294	2015.02	1200	広島県地方史研究文献総目録Ⅴ	
295・	2015.04	1200	特集	戦前の広島における洋楽の普及
296			論説	竹下可奈子「『呉新聞』にみる呉海兵団軍楽隊―大正13年から昭和6年までに焦点を当てて―」
				光平　有希「廣島女學校音樂部の活動に関する一考察―『米国南メソジスト監督教会年報及び議事録』を中心に―」
				大迫知佳子「大正から昭和初期における丁未音楽会の活動―新聞・写真・私家版『廣島の音樂五十年未定稿』の文責を中心に―」
				能登原由美「広島の洋楽普及における放送メディアの役割―広島中央放送局開局時にみられる学校音楽教育界とのつながり―」
			大会記事	2014年度）
			研究報告要旨	松井今日子、梶山　俊二、坊田　謙治

			新刊紹介	鴨頭	俊宏「岡山大学附属図書館貴重資料刊行推進会編『朝鮮通信使饗応関係資料』上・下巻」
297	2015.06	600	歴史を語る	田口	義之「山城に見る国人領主の領域支配－備後木梨氏と淵上城を例に－」
			書評	落合	功「『広島県信用組合60年史』」
				平下	義記「坂根嘉弘編著『地域のなかの軍隊5　中国四国　西の軍隊と軍港都市』」
298	2015.11	600	史料紹介	渡邊	誠　「備後安国寺住僧歴名について」
299	2016.03	600	論説	片岡	智　「近世家船漁民の地域社会への包摂と排除」
			歴史余録	植田	崇文「三原市八幡町美生の行者堂について」